

令和8年度 東京都立八王子北高等学校 学校経営計画



スクール・ミッション

生徒・保護者及び地域の期待と信頼を踏まえながら、確実に進化を続ける中堅校として、変革する未来にたくましく生き抜く人材を輩出するために、自ら学び、考え、挑戦する態度を追及する探究手法を身に付け活用し、社会貢献意識を持って実行し、自己実現を粘り強く図れる、協働力のある人間性豊かな人材を育成します。

1 教育目標

本校の教育目標を踏まえ、地域の信頼と期待に応える中堅校として、グローバル社会で社会貢献し自己実現を図れる、人間性豊かな人材を育成するために、次の4つを教育目標とする。

(1) 自主自律

自ら考え判断し行動できる自主性と創造力を持ち、自立及び自律できる人間を育成する。

(2) 文武両道

誠実で豊かな人間性をもつ知・徳・体の調和のとれた人間を育成する。

(3) 地域貢献

地域を愛し、地域と協働し、誇りをもって地域の良さを発信できる人間を育成する。

(4) 挑戦 ～ 今の自分が 未来を創る ～

自己を信じ、何事にも前向きに取り組み、変革する未来にたくましく生き抜ける人間を育成する。

2 スクール・ポリシー

(1) グラデュエーション・ポリシー

新たな時代にたくましく生き抜く人間力の育成を目指し、具体的に次の3つの力を育成する。

- ① 探究力を備え、課題解決に臨める力
- ② 失敗を恥じることなく粘り強く自己実現に挑戦する力
- ③ 良き社会人として協働し、社会貢献に取り組める力

(2) カリキュラム・ポリシー

- ① 少人数制授業・習熟度別授業を展開し、「わかる」を実感させる授業で、基礎学力の定着から「考える」を大切にし、「できる」までの確かな学力を育成する。
- ② 1、2年次は全員で幅広く教科を学習し教養を確実に身に付け、3年次の自由選択科目で自己実現を図るための学力を育成する。
- ③ 全教育活動において、探究的学習手法を学び、失敗を恥じることなく課題解決のために自ら主体的に考える探究力を身に付け、粘り強く自己実現を図れる人間力を育成する。
- ④ 学校行事や部活動で培われる思いやりや規範意識を重視し、生徒同士がチームとして一体となり文武両道を実践しながら、生徒の自主自律の精神と協働力を育成する。
- ⑤ 探究学習において地域との交流・連携をこれまで以上に深め、達成感や自身の可能性を実感することにより、自尊意識を育成する。

(3) アドミッション・ポリシー

本校では、次の項目に当てはまる生徒の入学を期待する。

- ① 学習成績が良好で評定の高い教科をもち、進路実現に向けて努力できる生徒。
- ② 本校入学後の学習活動や部活動等の目標を明確にもち、挑戦する意欲的な姿勢をもてる生徒。
- ③ 基本的な生活習慣を身に付け、社会貢献への姿勢と意識の高い生徒。
- ④ 部活動や中学校以外の活動に原則3年間積極的に取り組み、入学後も部活動を続け、学校生活において協働できる生徒。

3 グランドデザイン

目指すべき生徒の将来像（20年後の生徒の姿）

持続可能で創造的な福祉社会の担い手を育成するために自分の能力を生かしてゆける人間として成長する。



身につけられる力（育成すべき資質・能力）

- (1) 知識・技能・身につける学力 …… 高校上位で、大学受験に対応できるような学力を身につける。
- (2) 思考力 …… 論理的思考を身に着け、実際の行動と一致できる。
- (3) 判断力 …… 行動の優先順位をつけ、他者との間で調整する能力。
- (4) 表現力 …… 自分の判断や思考を使って他者を説得し、行動できる。
- (5) コミュニケーション力 …… クラスの意見をまとめ一つの方向性を出せる。
- (6) 規範意識 …… 学校全体のルールを考え学校全体で共有できる。
- (7) 課題解決力 …… 進路実現に向けて具体的な進路を探究する。
- (8) 協働性 …… 他者への想像力を育み、高度な協同性を発揮できる。

4 目指す学校

本校の教育目標及び地域の期待を踏まえ、地域の信頼と期待に応える中堅校として、変革する未来に身に付けた探究手法を活用し、社会貢献し、自己実現を図れる、人間性豊かな人材を育成する。

(1) 生徒の可能性を伸ばし、進路実現を図る学校

健全で明るい校風の中で、文武両道に励み、「わかる」を実感させる授業で、基礎学力の定着から「考える」を大切に「できる」までの確かな学力を育成し、生徒の個々の可能性を伸ばす進路指導を丁寧に行い、生徒の希望する進路を実現する学校にする。

(2) 学校教育活動により、自主自律を育成する学校

学校行事や部活動で培われる思いやりや規範意識を重視し、生徒同士がチームとして一体となり部活動と学習の両立を実践しながら、生徒の自主自律の精神を育成する学校にする。

(3) 地域貢献を實踐し、自尊意識を高められる学校

学校地域との交流・連携をこれまで以上に深め、達成感や自身の可能性を実感することにより、自尊意識を育成する学校にする。

(4) 新たな時代にたくましく生き抜く人間力を育成する学校

生徒が積極的に挑戦する気概を醸成し、失敗を恥じることなく課題解決のために自ら主体的に考える探究力を身に付け、粘り強く自己実現を図れる人間力を育成する学校にする。

5 中期的目標と方策

地域から寄せられる信頼をさらに厚くし、学習と部活動の両立を目指しながらバランスのある健全育成を重視した中堅校としての地位を発展させる。基礎・基本の学習を徹底させ、探究学習に取り組むことにより、主体的に考える姿勢を育成し、自身の可能性を伸ばし、より高く自己実現を目指す人間力を育成する。将来は、よき社会人として協働し、社会貢献できる資質の高い人材の育成を果たす。そのために、生徒の自己有用感や帰属意識を高める指導を積極的に行う。組織的な学校運営を構築する。

目標1 心身の健全育成を重視した地域に信頼される中堅校として、新時代のグローバル社会にたくましく生き抜く生徒を育成する。

方策1 規範意識の向上

方策2 挑む力の養成

方策3 国際理解教育の充実

方策4 教育相談体制の充実

目標2 学力の三要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」）を基盤に、「わかる・考える・できる」を具現化できる姿勢を育成し、自身の可能性を伸ばし、より高く自己実現を目指す人間力を育成する。

方策5 探究学習活動の充実

方策6 読解力・表現力向上の取組み

方策7 確かな学力の向上

目標3 将来は、よき社会人として協働し、社会貢献できる資質の高い人材育成を果たす。

方策8 探究手法を取り入れた教育活動の充実

方策9 切磋琢磨する望ましい集団づくりの充実

方策10 生徒の希望する進路実現

方策11 生徒主体で実施する学校行事の充実

目標4 教職員が目標達成に向け高い人権意識と生徒との信頼関係に基づく指導を推進し、組織的な学校運営を実践する。

方策12 共通認識を持ち、グランドデザインを実践

方策13 組織的な学校広報活動の充実

方策14 全教職員による経営参画型の運営

目標5 校長の学校経営を支える経営企画室

方策15 経営企画室長が別に定める経営企画室の組織目標により、経営計画に基づく学校づくりを事務的な側面から推進。経営参画型の経営企画室運営。

方策16 行政職員の人材育成に係る取組として、自ら育つ姿勢を重視したOJTを推進。

6 今年度の取組み目標と方策

中期的目標の達成に向けて、「チーム ハチ北」全教職員が一丸となって、生徒主体の教育活動を展開するための今年度学校経営計画の柱は、次の通りとする。

【目標】

(1) ICTを効果的に活用した教育活動を一層推進する。

一人一台端末を活用した授業改善に取り組み、効果的に基礎学力の定着や学力の向上を図る。また、個別最適な学習が進められるように、「学習支援コンテンツ」を積極的に活用する。

(2) 本校の特色である「国際理解教育」を一層推進する。

グローバル人材の育成に向けて「国際理解教育」を推進し、外国語教育の充実を図る。

(3) 本校の特色である「探究学習」を一層推進する。

「探究学習」をより一層充実させるため、自らの問いに答えを導きだせるようゼミ形式で実施する。探究学習を通して自ら答えを導き出し、未来を切り開く力を育成するとともに、諸活動を通して都民・地域から信頼される学校づくりを進める。

(4) 健康と安全に関する理解を深め、生涯にわたって健康的な生活を目指す促進事業を推進する。

生涯を通じて生徒が、自らの体力向上や健康・環境を管理し、改善していくための資質・能力を涵養する。

(5) 自他を尊重し、多様な価値観を認め、相手を思いやる敬愛心の育成を推進する。

人権意識を醸成する教育活動を計画的に実施する。

(6) 教員の資質向上に努める。

相互授業観察や校内研修会を計画的に実施する。また、学校外での各研修への参加を推奨する。

(7) 生徒・教職員にとって安心・安全な学校、働きやすい職場環境の整備を推進する。

【方 策】

(1) 学校全体での広報活動の推進による募集倍率の向上【最重要】

- ①ホームページ、X（旧 Twitter）、TikTok 等の活用（積極的な更新の実施）
- ②生徒主体の学校説明会・学校見学会の実施（生徒会・部活動・生徒有志）
- ③中学校訪問
- ④塾訪問
- ⑤授業公開
- ⑥部活動体験入部
- ⑦各種校外説明会・相談会等への積極的参加

(2) 探究学習活動の企画・実践の充実【最重要】

- ①計画的な「総合的な探究の時間」・教科「人間と社会」の実施
 - ・ルーブリック評価等の活用による生徒の変容を図る「振り返り」の実施
- ②地域活動への協力
 - ・小学生・中学生への支援、地元・八王子市民（高齢者）への支援、地域防災活動への協力
 - ・防災士の資格取得および防災士による地域活動の推進
- ③グローバル探究部の活動推進
 - ・「高校生農業応援プロジェクト」等、地域探究活動の推進
 - ・「ハングルサークル」等、国際探究活動の推進
 - ・「TikTok」等、広報活動の推進

(3) 新教育課程の充実【重要】

- ①学習指導の充実（東京都教育ビジョン（第5次）に基づき、とりこぼさない、きめ細やかな指導の推進）
基礎学力の定着とともに、進学希望者の応用・発展的学力の育成【最重要】
 - ・ICT機器を活用した次世代教育の実践
 - ・「学習支援コンテンツ」の有効活用
 - ・アクティブラーニング型授業の推進
 - ・小テストや家庭学習等による成功体験の実践
 - ・ランドデザインに基づくルーブリック評価の積極活用
 - ・考査等において思考力を問う問題の実施
 - ・オンライン英会話の実施
- ②「個別最適化」を図る評価方法の確立
 - ・多面的評価に基づく観点別評価の実施
- ③探究学習活動と進路指導の連携
 - ・プレゼンテーション能力の向上
- ④講習等、積極的な学びの場の計画・運営

(4) ICT教育推進

- ①ICT活用授業推進
- ②一人一台端末の活用【最重要】
 - ・「学習支援コンテンツ」の有効活用

(5) 海外学校間交流推進校として「国際理解教育」の推進【最重要】

- ①グローバルな世界を体感できる「TOKYO GLOBAL GATEWAY事業」に学年行事として参加
- ②「アジア高校生架け橋プロジェクト+」への参加
- ③釜山外国語大学における「夏季外国語短期研修」への参加・実施

- ④春季韓国研修旅行の計画・実施
- ⑤グローバル探究部における「ハングル」学習の充実
- ⑥「Global Visit(旧 都立高校生等の海外派遣研修)」「Global Challenge」等、各国際交流事業等への積極的な参加

(6) 3年間を見据えた進路指導の充実

- ①家庭学習時間の確保【重要】
 - ・「学習支援コンテンツ」の有効活用
- ②計画的キャリア教育の実施
- ③学校全体での生徒の可能性を伸ばす進路支援の充実【最重要】
 - ・教員全身体制での夏期・冬期講習会の充実
 - ・大学受験講座、小論文対策、面接対策、就職対策、基礎講座、教養講座、資格取得対策等、勉強合宿(学年)等の実施
- ④キャリアパスポートとしてのポートフォリオを利用した「個」に応じた指導の確立(学年と連携)

(7) 生活指導

- ①基本的な生活習慣の確立
 - ・遅刻を減らす組織的な取組みの強化【最重要】
- ②生徒が主体となる学校行事の充実
 - ・学校行事・生徒会・部活動・委員会活動の充実【重要】
 - ・ルーブリック評価等の活用による生徒の変容を図る行事の「振り返り」の実施
 - ・行事検討委員会を設置し、組織的な取組みの強化
 - ・感染症対策、熱中症対策等の安全策等の強化・実施
 - ・オリンピック 2020 レガシー
 - ・生徒会・部活動・委員会活動による地域の小学生・中学生への地域貢献(学校公開・部活動体験等の参加)
- ③「安全教育推進校」として安全指導の徹底
 - ・学校サポートチームの活用
 - ・防災教育の計画的な実施
 - ・いじめ未然防止・早期発見・早期対応【重要】
 - ・SNSトラブルの対応(八王子北高等学校 SNS ルール)【重要】
 - ・登下校中の自転車事故の未然防止(特にヘルメット着用義務について)【最重要】
 - ・部活動中における怪我の防止(未然防止対策の充実)
- ④校則
 - ・オフィシャルに即した着こなしの定着化【重要】
- ⑤挨拶指導の慣行による規範意識の醸成

(8) 教育相談・保健指導(心と体の健康づくり)

- ①生涯の健康に関する理解促進事業の推進
 - ・産婦人科医を招聘した、ライフプランと健康との関りに関する公開授業の実施
- ②自立支援チーム、ユースソーシャルワーカー、スクールカウンセラーと連携【重要】
- ③教育相談の持つ予防・開発的側面と問題解決的側面の充実・推進【最重要】
 - ・生命に関する事故の防止。
 - ・教員のカウンセリングマインドの育成
- ④コンディションレポートによる心身の健康観察【重要】
- ⑤熱中症対策・アレルギー対策等
- ⑥教育活動中における怪我等発生時の緊急対応

(9) 学年

- ①生活指導(生活指導部との連携による基本的な生活習慣の確立)
 - ・集団生活を通じた規範意識の醸成

- ・遅刻を減らす組織的な取り組みの強化【最重要】
- ・オフィシャルに即した着こなしの定着化【重要】
- ・登下校中の自転車事故の未然防止（特にヘルメット着用義務について）【最重要】

②感染症対策を講じた学校行事の実施

- ・TGG（東京グローバルゲートウェイ）、修学旅行、遠足等の実施

③進路指導（進路指導部との連携による各年次での計画的指導の充実。）

- ・進路指導部・教科との連携による家庭学習時間の増加【重要】
- ・キャリアパスポートとしてのポートフォリオを利用した「個」に応じた指導の確立【重要】

④各種資格取得の推進

日本漢字能力検定、実用英語技能検定、世界遺産検定、防災士等

(10) 特別活動

- ①部活動基本方針に即した生徒の健全育成
- ②生徒が主体となって運営される学校行事の充実【重要】
- ③生徒会・委員会活動の一層の推進

(11) 教員の資質向上【最重要】

- ①教科を横断した教員相互の授業参観の実施
- ②校内研修の実施
- ③指導教諭の授業観察や各研究会、研修センターのプログラムなど、学校外での研修参加を推奨

(12) 学校運営

- ①教育公務員としての意識・責任感の醸成と、服務事故の防止【重要】
- ②年休取得や男性の育児参加を推奨し、教職員の健康とライフ・ワーク・バランスに配慮した学校運営を推進
- ③教育活動全般について組織的な運営と効率化に努める【最重要】

◆ 今年度の数値目標 ◆ 【 】内は過去5年以内の実績値推移

- 目標1 計画的な業務遂行により時間外勤務時間45時間以上 **10人以下(月平均)**
【45時間以上5人→3人→8.8人→**11.5人** 80時間以上:5人→3人→1.3人→**2.1人**
100時間以上:→0人→0人→0.1人→**2.4人**】
- 目標2 入学者選抜の最終応募倍率 **推薦 3倍 学力検査 1.20倍**
【推薦:3.2→2.82→2.4→3.03→**2.88**】 【学力検査:1.04→1.30→1.15→1.22→**1.13**】
- 目標3 広報活動を充実させ、学校説明会の来校者数(中学生、保護者) **2,400人以上**
【2431人→1822人→2045人→2430人→**2,383人**】
- 目標4 本校ホームページ・X(旧Twitter)の充実によりアクセス回数 **650,000回以上**
【110,000回→609,578回→685,787回→779,000回→**505,000回**】
- 目標5 地域と連携した探究学習活動 **10回**
【9回→11回→15回→9回→**14回**】
- 目標6 考査における「思考力」を問う出題割合 **100%**
【75.1%→98.0%→97.6%→96.7%→**100%**】
- 目標7 平日家庭学習1時間以上の割合 全学年 **20%**
【20.6%→21.5%→37.9%→22.6%→22.9%→**13.9%**】
- 目標8 授業満足度の肯定的回答率 **92.0%**
【90.6%】
- 目標9 夏期・冬期講習会の充実 開設講座**40講座・参加人数(延べ) 250名**
【37講座・参加人数(延べ) 224名→35講座・参加人数(延べ) 158名→31講座・参加人数(延べ) 146名
→**43講座・参加人数(延べ) 215人**】
- 目標10 3年間を見据えた進路指導により
(ア) 大学・短大進学者数 **100人以上**
【58人→65人→74人→96人→85人→**70名**】
(イ) 就職率(就職希望者に対して) **100%維持**
【100%→100%→100%→100%→**100%**】
(ウ) 進路決定率 **95%**
【93.9%→90.3%→91%→**96.3%**】
- 目標11 資格取得
○日本漢字能力検定: **3級 3名、準2級 5名、2級 2名**
【3級:5名→6名→5名→**0名**、 準2級:10名→3名→2名→**3名**、 2級:1名→1名→0名→**0名**】
○実用英語技能検定: **準2級 12名、2級 3名**
【3級:4名→3名→6名→**0名(未実施)** 準2級:16名→11名→15名→**6名**、 2級:2名→2名→3名→**1名**】
○世界遺産検定: **4級 3名、3級 3名、2級 2名**
【4級:1名→0名→0名→**1名**、 3級:1名→2名→0名→**2名**、 2級:0名→1名→0名→**0名**】
○防災士: **10名** 【19名→5名→8名→**6名**】
○上級救命講習: **200名** 【200名→198名→188名→**190名**】
- 目標12 部活動加入率 **80%**
【79%→78%→78%→74.9%→**79%**】
- 目標13 SCやYSWと連携した教育支援を充実させ中途退学生徒 **0人**
【0人→1人→2人→4人→**0人**】
- 目標14 年間遅刻の延べ回数: **各学年 1300回以内 学校全体 4000回以内**
【学校全体 3963回→4543回→**5014回**→5339回】
- 目標15 いじめ・体罰 **0件**
【0件→→0回→0件→**0件**】